

情 報 公 開 文 書

研究の名称	TTF-1 陰性非扁平上皮非小細胞肺癌における免疫チェックポイント阻害剤療法の有効性を比較検討する多施設共同観察研究
整理番号	
研究機関の名称	国立大学法人 富山大学
研究責任者	内科学（一）准教授 猪又峰彦
研究の概要	<p>本研究ではカルテ記録の収集と解析を行います。</p> <p>【研究対象者】 富山大学附属病院と各参加医療施設で診療を受け、以下の基準を満たす方を対象とします。</p> <p>① 非扁平上皮非小細胞肺癌と診断された方 ② 各施設の診療における免疫染色により腫瘍組織において TTF-1 発現陰性と診断された症例、または病院に保存された病理検体を用いて研究開始後に免疫染色を行い TTF-1 陰性と判明した方。 ③ 2019年1月から2022年12月までに免疫チェックポイント阻害剤を含む初回全身治療が開始された症例（手術、根治的放射線照射、化学放射線療法後の再発症例を含む）</p> <p>【研究の目的・意義】 肺癌の内、TTF-1 タンパクの発現が陰性である腫瘍は免疫チェックポイント阻害剤療法の治療効果が落ちることが報告されています。本研究ではこのような腫瘍に対してどのような治療が有効性に優れているのか検討するためにカルテ記録の収集と解析を行います。</p> <p>【試料・情報の取得の方法】 患者さんのカルテ情報を研究に用います。個人情報が入らないよう、氏名やカルテ番号などは消去します。</p> <p>【研究期間】 研究機関の管理者の許可日から 2026年3月31日</p> <p>【研究結果の公表の方法】 学会や医学雑誌での発表を予定します。</p>
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法（他機関への提供の有無）	本研究では、年齢、性別、喫煙歴、全身状態（Performance status）、肺癌組織型、病期、脳転移、肝転移の有無、腎機能、病理検査情報、治療内容、増悪日、死亡日または最終受診日などの診療情報を富山大学第一内科に集約し研究に使用します。富山大学第一内科に集約し研究に使用します。富山大学から他機関へのさらなる情報提供はありません
研究に用いる試料・情報を利用する機関及び施設責任者氏名	富山大学附属病院 病院長 林篤志
研究資料の開示	研究対象者、親族等関係者のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示いたします。
試料・情報の管理責任者（研究主機関における研究責任者氏名）	富山大学内科学（一）准教授 猪又峰彦
研究対象者、親族等関係者からの相談等への対応窓口	<p>研究対象からの除外（試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む）を希望する場合のお申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。</p> <p>電話 076-434-7287 担当者所属・氏名 富山大学内科学（一）准教授 猪又峰彦</p>